広告　企画・制作／株式会社 産経アドス

「きこえない」で悩まれている方へ

正しく知ろう！最新の難聴治療と人工聴覚機器

女性アイドルデュオ・Wink として人気を博し、現在はソロ歌手や女優、バラエティ番組でも活躍中の相田翔子さん。実は二十代の頃に突発性難聴を患い、三十代でメニエール病を発症。現在も再発を予防しながら過ごされています。そんな「きこえ」の問題について、福島県立医科大学 医学部 耳鼻咽喉科学講座 講師の今泉光雅（いまいずみみつよし）先生と語り合っていただきました。



母の故郷である福島県は思い出深くて大好きなまち

今泉　福島県とご縁がおありなんですよね。

相田　石川郡石川町が母の生まれ故郷なんですよ。小学生の頃は、夏休みに祖父母の家へ泊まりに行くのが毎年の楽しみで。裏にある山へ虫取りや野草を摘みに行ったり、目の前の川で水遊びをしたりと、思い出深くて大好きなまちです。祖母が炊いてくれたごはんのおいしさも感動的でした。

今泉　自然豊かないところですよね。僕は子どもが2人いるんですが、福島はとても暮らしやすい。2011年の東日本大震災で、一時期、大勢が移住されてしまいましたが、より住みよいまちにしようと公共施設も増え、以前よりさらに子育てしやすくなりました。相田さんは震災後の早いタイミングで、福島のためにチャリティーコンサートを催してくださったんですよね。

相田　当時、ライブは休んでいたんですが、居ても立ってもいられず、音楽仲間に声をかけたんです。少しでも寄付できればと話をしたら、皆さんすぐに賛同してくださって。津波で流された学校に楽器をプレゼントしました。今も見守り、影ながら応援しています。

今泉　ありがとうございます。福島県民としてうれしいですね。

難聴は早めの治療が大切　再発で両耳が悪くなる恐れも

今泉　突発性難聴を発症されたのはいつ頃ですか。

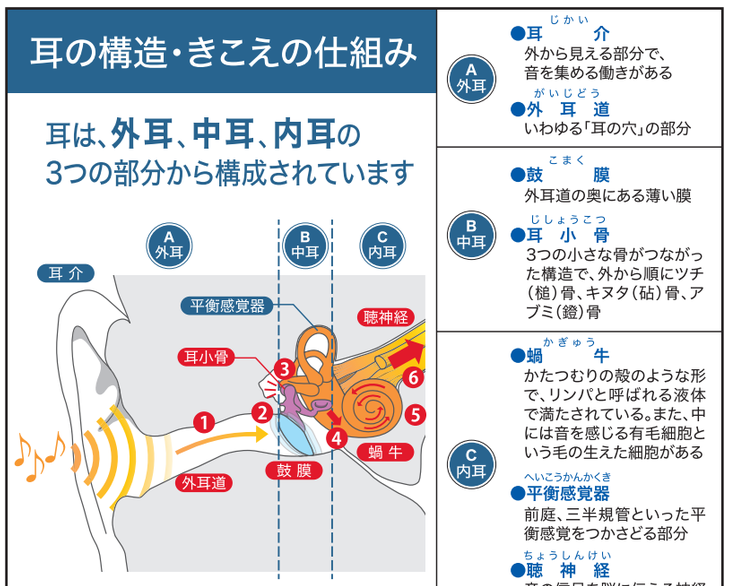
相田　25歳のときです。歌番組のリハーサルで初めてめまいを感じ、踊っていても平衡感覚がつかめなくなったんですよ。控室に戻ると、右耳に船の汽笛のような耳鳴りがして、周りの音がきこえづらくなって…。

今泉　そのまま歌って踊られたんですか。

相田　はい。なんとか生放送の本番は乗り切り、家に帰ってから少し和らいだので数日は我慢してしまいました。だけどあまりにも眠れなくなり病院へ行ったら、即入院だと。すぐに来なきゃだめな病気だと言われました。

今泉　その通りです。どんな治療を？

相田　ステロイドの点滴とブロック注射を。なかなか効かず不安になりましたが、2週間近く経った頃に、ようやく聴力が良くなってきて退院しました。



今泉　最終的に聴力は戻りましたか。

相田　今も低音がきこづらく、完璧には戻っていませんが、普段の生活に支障はありません。

今泉　必ずしも完全に治るものではないですからね。

相田　そう伺いました。生死に関わる病気ではありませんが、病院で一緒になった方たちも、将来に対する不安があって憂鬱だと。とはいえメンタルにも左右されるから、気持ちを切り替えなきゃって。

今泉　そうです。とくに耳鳴りは、心が落ち着いてくると和らぐことが多いですからね。逆にストレスや疲労が溜まってくると、メニエール病等の内耳性の難聴やめまいの発症につながることがあります。

相田　実はメニエール病も38歳の頃、結婚直後に発症してしまいました。母が他界し、まだ相手のご両親にも慣れていないなかでの結婚式の準備が大変で、当日までとても緊張していて。終わってほっとしたときの食事会で、急に脂汗が出てきて目が回り、息も苦しくなって、右耳に耳鳴りが…。

今泉　かなり酷かったんですね。

相田　ええ、20分ぐらい動けませんでした。症状を伝えると、義母（女優の司葉子さん）が耳鼻科を紹介してくれ、翌日受診したところメニエール病だと。

今泉　相田さんもそうだと思うんですが、メニエール病って真面目な頑張り屋さんがなりやすいと言われているんですよ。病院ではなんと？

相田　入院したほうがいいと言われましたが、お仕事もあり難しかったので、薬を飲みながら家で療養することを選びました。ステロイドの錠剤を服用するのに抵抗はありましたが、長期で飲まなければ大丈夫だと。

今泉　飲みすぎると合併症を引き起こしかねませんからね。恐らく2週間ほど限定的に出されたと思いますが。

相田　1カ月ぐらいかかりました。3錠から始めて、2錠、1錠と量を減らして。

今泉　それは相当…入院を提案されたのも納得です。

相田　ずっと耳鳴りがしていました。いろんな音が頭の中で跳ね返る、エコーがかかったような反響が一番つらかったです。結局、1カ月半ほどで落ち着いたんですが、数年前にも同じく右耳で再発し、ステロイドの錠剤を。

今泉　ステロイドで落ち着いたあとは、水を出すような薬を継続しましょうと？

相田　そうです、苦いお薬。先生からは長期戦だと言われました。

今泉　メニエール病は、内耳にある蝸牛の中のリンパ液が過剰に溜まることで発症しますからね。

相田　その後は定期的に聴力検査をしていて、今は落ち着いています。ところで突発性難聴とメニエール病の違いって何ですか。両方経験したものの、よくわからなくて…。

今泉　鋭い質問ですね。診断基準に入っているんですが、メニエール病の特徴は繰り返すことなんです。逆に言うと、メニエール病だったとしても、初めての発症時は、突発性難聴と診断されることがあります。突発性難聴はめまい発作を繰り返すことがないため区別されますが、初回発作時とがないため区別されますが、初回発作時は厳密に区別することが難しいです。

相田　確かに繰り返しますね。今も少しずつ解除されるのかわからず、ともすれば疲れが溜まると調子が悪くなってくるので、早めにお薬を飲むようにしています。

今泉　何度か経験されると再発しそうなのがわかるようですね。逆に反復して治療をしないまま放置してしまうと、高度や重度の難聴へ進行してしまう恐れもあります。

相田　私もいつかそうなる危険性があるんですか。

今泉　早めに受診して対応することで、かなり確率は下げられますが、反復するのが特徴なので、1～2割の方が両側の耳に出てしまうと言われています。

相田　それも伺いました。だけど悩んでいてもしょうがないし、今も耳鳴りは常にうっすら出ていますが、それはもう自分の一部と思うようにしています。

中耳と内耳、それぞれの代わりを果たす人工聴覚機器



今泉　難聴が進むと補聴器を使うケースが多いですが、補聴器を装用してもよく聞こえない場合、難聴の種類や程度によって、人工中耳や人工内耳といった人工聴覚機器できこえを確保できます。

相田　人工中耳と人工内耳？

今泉　それぞれ中耳や内耳の代わりになる機器です。耳小骨の働きで鼓膜の振動を蝸牛のリンパ液に伝えるのが中耳、有毛細胞の働きでリンパ液の振動を電気信号に変えて聴神経に伝えるのが内耳の主な役割です。

相田　振動を伝えるのが中耳、振動を電気信号に変換するのが内耳と。

今泉　そうです。難聴は二種に大別されるんですが、中耳に問題のある場合は、音が伝わりづらくなる「伝音難聴」、内耳に問題のある場合は、音を感じづらくなる「感音難聴」と呼ばれます。だからメニエール病も感音難聴ですね。これらの人工聴覚機器は、体内装置（インプラント）と体外装置（オーディオプロセッサ）に分けられるんですが…。

相田　（体外装置を手に取り）こちらを外側につけるんですか。

今泉　そうです。体内装置を近づけてもらうと…。

相田　くっつきました！　磁石なんですね。

今泉　体内装置を手術で耳元に埋め込み、体内装置と体外装置の磁石により、皮膚を介してくっつけるんですよ。体外装置のマイクで拾った音を電気信号に変換して、送信コイルで体内装置に伝えるんですが…それぞれの体内装置の違いはわかりますか。

相田　人工内耳のほうがコードの部分が長いですね。蝸牛の中までふわっと繊細に入るイメージです。



相田　つけたらすぐに音がきこえるんですか。

今泉　人工内耳の場合、最初はロボットの声みたいにきこえるようですが、会話などのリハビリを重ねれば、脳が以前きいていた音と一致させてくれ、通常どおりきこえるようになります。かかる時間は人によりますが、失聴期間が短いと比較的早く認識できる傾向にあります。

相田　脳ってすごいですね。耳鳴りなどの症状も治まりますか。

今泉　これまた鋭い質問ですね。人工聴覚機器が適応されるかどうかは難聴の度合いによりますが、人工内耳によって難聴が原因の耳鳴りが改善したという報告もなされています。

1歳以上なら何歳でも可能で金銭面の負担も少ない手術

相田　手術は大変なんですか。

今泉　2時間ほどで済み、それほど体の負担はありません。1歳以上なら何歳でも手術は可能ですし、入院も1週間ぐらいです。

相田　年齢の上限はないんですか。

今泉　全身麻酔ができるかなどをチェックして、問題がなければ大丈夫。私自身、80代の方の手術もしています。

相田　小さいお子さんの場合、先天的なものなんでしょうか。

今泉　先天性の難聴、とくに遺伝性難聴も感音難聴ですね。これらの人工聴覚機器は、体内装置（インプラント）と体外装置（オーディオプロセッサ）に分けられるんですが…。

相田　（体外装置を手に取り）こちらを外側につけるんですか。

今泉　そうです。体内装置を近づけてもらうと…。

相田　くっつきました！　磁石なんですね。

今泉　体内装置を手術で耳元に埋め込み、体内装置と体外装置の磁石により、皮膚を介してくっつけるんですよ。体外装置のマイクで拾った音を電気信号に変換して、送信コイルで体内装置に伝えるんですが…それぞれの体内装置の違いはわかりますか。

相田　人工内耳のほうがコードの部分が長いですね。蝸牛の中までふわっと繊細に入るイメージです。

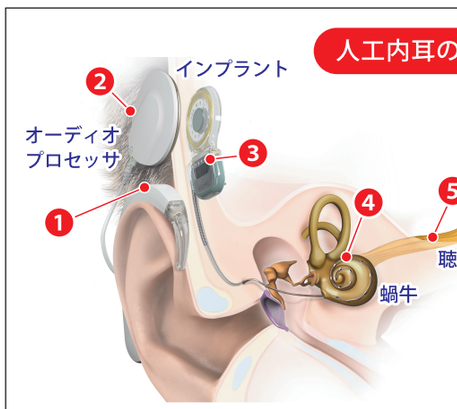
今泉　おっしゃる通りです。人工内耳は電極を蝸牛の中まで入れて、電気信号を直接、聴神経に伝えるために、この長さと形になっています。

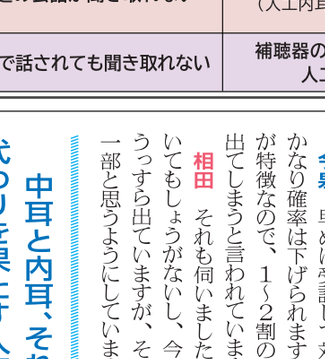
相田　補聴器とは仕組みが全然違うんですね。

今泉　補聴器は音を大きくするスピーカーのようなものですからね。内耳の変換機能がだめだと、どれだけ大きな音を耳に入れてもきこえないわけです。

相田　人工中耳は先端に何かついていますね。

今泉　振動子というんですが、これを中耳の奥のほう、蝸牛の入口部分などに固定し、電気信号を振動に変えて蝸牛に伝えます。電気信号のままではなく振動に切り替えて伝えることで、より自然な音になるんです。





認知症の原因にもなる難聴　仕方がないと諦めず専門医へ

相田　お年を召して耳が遠くなられる方も多いと思いますが…。

今泉　いわゆる加齢性難聴ですね。加齢性難聴は低い音はきこえていても高い音がきこえなくなってきます。そのため、まずは補聴器の装用をお勧めします。若い人にも見られますが、高音部の難聴が更に進んだ高音急墜型難聴の方に適応となるのが、残存聴力活用型の人工内耳です。低い音は補聴器のような機能で音量を上げ、高い音は人工内耳の機能で伝えます。

相田　いろいろなケースに対応してくれるんですね。

今泉　実際「年寄りだからきこえなくても仕方がない」と言われがちなんですが、難聴のせいで話が通じず孤立し、認知症になってしまう恐れもあるので、早期に聴覚を確保することが重要です。逆に家族から認知症だと思われていた方が、人工内耳手術を受け聞こえるようになり会話が成り立つようになったため、ただの難聴だったとわかった患者さんもいました。

相田　よくきこえないと、会話も億劫になりますもんね。私自身も難聴が酷かったときは、「え？」と訊き返すのが失礼だと思い、わからないまま相づちを打つこともありました。音がきこえないと事故につながる恐れもあるでしょうし…。今回、こういうものがあると知り、随分と気が楽になりました。

今泉　手術への恐怖感はありますか。

相田　お話をきいて、ゼロどころか安心材料になりました。難聴を抱える人にとっては、つらさが緩和する希望のほうが大きいんじゃないでしょうか。これもご縁なので、もしものときはお世話になりたいと思います。

今泉　それは良かったです。「きこえ」の問題を抱える方は、決して放置せず、なるべく早めに専門医にかかっていただきたいですね。

難聴は放置せず、専門医の受診を

難聴程度	きこえの障害・程度	聴覚活用
軽度 25~39dB	小さな声が聞きづらい	ききやすい環境の整備が必要 必要に応じ補聴器装用
中等度 40~69dB	普通の会話が聞きづらい	補聴器の効果が高い
高度 70~89dB	普通の会話が聞き取れない	補聴器の効果有（人工内耳適用の可能性有）
重度 90dB以上	耳元で話されても聞き取れない	補聴器の効果は個人差有 人工内耳適用